



2018年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月11日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 定時株主総会開催予定日 2018年11月27日 配当支払開始予定日 2018年11月28日
 有価証券報告書提出予定日 2018年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期の連結業績(2017年9月1日~2018年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期	61,771	11.7	7,858	27.8	8,207	29.2	4,426	36.0
2017年8月期	55,283	8.0	6,146	27.8	6,354	35.2	3,255	71.3

(注) 包括利益 2018年8月期 5,133百万円(43.5%) 2017年8月期 3,577百万円(71.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年8月期	54.44	—	18.7	14.7	12.7
2017年8月期	43.63	—	18.5	16.5	11.1

当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年8月期	68,357	26,697	37.5	315.51
2017年8月期	43,690	22,663	49.6	266.36

(参考) 自己資本 2018年8月期 25,656百万円 2017年8月期 21,660百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年8月期	8,327	△23,405	13,276	11,889
2017年8月期	9,209	△6,317	4,659	13,754

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年8月期	—	18.00	—	18.00	36.00	697	20.6	4.0
2018年8月期	—	20.00	—	5.00	—	822	18.4	3.4
2019年8月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00	—	18.7	—

当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施したため、2018年8月期の期末配当金及び2019年8月期(予想)の配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,961	5.2	4,123	11.8	4,109	6.4	2,258	△2.7	27.77
通期	66,044	6.9	9,345	18.9	9,307	13.4	5,205	17.6	64.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有

新規 1社（社名）Curves International, Inc.、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2018年8月期	82,300,000株	2017年8月期	82,300,000株
2018年8月期	981,716株	2017年8月期	981,636株
2018年8月期	81,318,345株	2017年8月期	74,626,056株

当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】P.4「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な輸出と設備投資等に支えられて、内外需共に好調に推移、個人所得も堅調に回復し消費は持ち直しつつあります。

このような環境下での各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

カラオケボックス市場は、大手事業者間の競争によりその勢力図が大きく変わりつつあり、その中で成長を続けていくために、首都圏を中心とした新店の開設と既存店の増室を積極的に推し進めると共に、業務の自動化・効率化の推進、他社に無い新しいサービスの提供に努めました。

特定の時間帯や顧客層に照準を当てた「ZEROカラ」、「朝うた」などの施策を踏襲しつつ、個々の店舗の顧客ニーズに応じた価格・営業時間の設定と時宜に合った料金施策を展開することで、ベースの顧客の基盤固めに力を注ぎました。

株式会社ホットランドとのコラボによる「築地銀だこ」販売は、売上首位のメニューとなる程ご好評を頂きました。

海外展開では、マレーシアに1号店を開業いたしました。

当連結会計年度末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比21店舗増加し520店舗となりました。海外店舗数は23店舗（シンガポール10店舗、韓国12店舗、マレーシア1店舗）となっております。国内店舗のリニューアルは42店舗実施いたしました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は319億36百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は31億53百万円（前年同期比53.8%増）となりました。

【カーブス】

病気に罹らず介護も要らず、いつまでも健康で楽しく過ごせる人生の実現を目指して、仲間達と一緒に運動を続けられる生涯の習慣作りと場所の提供を行っております。

運動習慣の無い方々に、その必要さと大切さを理解していただき、運動習慣を身につけるように導くことにより、会員数の継続的拡大を図り、店舗網の充実に努めました。

運動との相乗効果向上と飲みやすさの改善を果たした改良後のプロテインは、大いに好評を得るところとなり、新たに定期購入を始める会員が著増したために、売上と利益の拡大に繋がりました。

当連結会計年度末の国内カーブス店舗数は前連結会計年度末比89店舗増加（増加率4.8%）し1,912店舗（内グループ直営店61店舗）に、会員数は6千人増加（増加率0.7%）し827千人となりました。

平成30年2月17日付「子会社における孫会社の異動を伴う株式取得に関するお知らせ」及び平成30年3月31日付「連結子会社（孫会社）間の合併及び特定子会社の異動に関するお知らせ」にて既報の通り、カーブス事業のグローバル・フランチャイザーであるCurves International Holdings, Inc. 他の株式を取得いたしました。この取得に関わる諸費用5億45百万円を計上いたしました。

以上の結果、カーブスセグメントの売上高は279億33百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は53億45百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

【温浴】

滞在時間を延ばす居心地の良い空間作りと飲食メニューの一新を図ると共に、設備の省エネ化を更に推し進めることにより、温浴事業の質量両面に亘る経営改善に努めてまいりました。

以上の結果、温浴セグメントの売上高は15億87百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は71百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は3億13百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は1億33百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当連結会計年度の売上高は617億71百万円(前連結会計年度比11.7%増)、営業利益78億58百万円(同27.8%増)、経常利益82億7百万円(同29.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は44億26百万円(同36.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は次のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ246億67百万円増加し(前連結会計年度末比56.5%増)683億57百万円となりました。

流動資産は7億28百万円増加し204億65百万円(同比3.7%増)となりました。

有形固定資産は7億42百万円増加し175億52百万円(同比4.4%増)となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が7億77百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は229億57百万円増加し246億27百万円(同比1,374.4%増)となりました。これは主に、商標権が205億59百万円増加したことなどによるものです。

投資その他の資産は2億39百万円増加し57億12百万円(同比4.4%増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が5億13百万円増加した一方で、投資有価証券が2億72百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は239億38百万円増加し478億92百万円(同比99.9%増)となりました。

(負債)

流動負債は21億85百万円増加し148億27百万円(同比17.3%増)となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金14億32百万円および未払法人税等が3億57百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は184億48百万円増加し268億32百万円(同比220.0%増)となりました。これは主に、長期借入金131億52百万円および繰延税金負債が49億8百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は206億33百万円増加し416億60百万円(同比98.1%増)となりました。

(純資産)

純資産は40億33百万円増加し266億97百万円(同比17.8%増)となりました。これは主に、利益剰余金が36億54百万円増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して18億65百万円の減少となり、118億89百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、83億27百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は92億9百万円の資金増加であり、8億81百万円増加額が減っております。これは主に、税金等調整前当期純利益が19億80百万円および法人税等の支払額が21億81百万円増えた一方で、未払金及び未払費用の増減額が7億31百万円減ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、234億5百万円の資金減少となりました。前連結会計年度は63億17百万円の資金減少であり、170億88百万円減少額が増えています。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が184億5百万円増えたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、132億76百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は46億59百万円の資金増加であり、86億16百万円増加額が増えています。これは主に、長期借入れによる収入が147億97百

万円増えた一方で、株式の発行による収入が31億26百万円および自己株式の売却による収入が22億93百万円減ったことなどによるものであります。

（4）今後の見通し

今後の経済見通しについては、好調な企業業績を背景に景気は更に上向き、雇用情勢の回復に伴い個人消費も堅調に推移するものと思われませんが、米国主導の通商保護主義の台頭による悪影響が懸念されます。

このような環境下、今期の見通しは以下のとおりであります。

【カラオケ】

国内市場は熾烈な生き残り競争となっており、そこで勝ち抜いていく為に、首都圏を中心とした店舗数とルーム数の拡大に取り組むと共に、各顧客層への施策の整備と店舗毎の顧客特性に適合した施策のきめ細かな展開を継続してまいります。

接客サービスにより注力できるように、業務のシステム化・自動化に進めると共に、開発を伴う新しいサービスの創造にも挑戦してまいります。

海外市場においては、タイに初出店すると共にマレーシアでの多店舗展開を開始するほか、周辺国においても準備を進めます。

これらの施策により、カラオケセグメントの売上高352億34百万円（当連結会計年度比10.3%増）を見込んでおります。

【カーブス】

高齢化が急激に進む社会の中で、健康寿命の延伸という目的に貢献していくためには、現時点で目論見可能な出店店舗数ではまだまだ不十分であると考えます。

運動の重要さをあまり意識しない方々に運動習慣の大切さを理解して身につけて頂く手法の開発と、市場を更に深掘りできる為のカーブス本部並びに各加盟企業の経営力の強化に加えて、健康維持のために住民の運動習慣を広めることを試みる地方自治体との連携を拡げることにより、店舗数と会員数共々一段高い拡充を目指してまいります。

これらの施策により、カーブスセグメントの売上高287億93百万円（当連結会計年度比3.1%増）を見込んでおります。

【温浴】

郡山まねきの湯における新規温泉開湯と既存コンテンツの一新など、顧客満足度を高めていく各種施策の展開と、更なる省エネ化施策の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。

これらの施策により、温浴セグメントの売上高17億7百万円（当連結会計年度比7.5%増）を見込んでおります。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は3億11百万円（当連結会計年度比0.8%減）を見込んでおります。

以上により、2019年8月期通期の連結業績につきましては、売上高660億44百万円（当連結会計年度比6.9%増）、営業利益93億45百万円（同18.9%増）、経常利益93億7百万円（同13.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益52億5百万円（同17.6%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および海外への事業展開の進展状況を踏まえながら、国際会計基準の適用について、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当連結会計年度 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,785,094	11,926,326
受取手形及び売掛金	3,021,695	3,824,364
商品	900,386	944,185
原材料及び貯蔵品	196,282	179,193
繰延税金資産	434,772	502,318
その他	1,418,940	3,105,386
貸倒引当金	△20,104	△16,317
流動資産合計	19,737,068	20,465,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,143,674	23,149,729
減価償却累計額	△9,426,936	△10,655,877
建物及び構築物 (純額)	11,716,737	12,493,852
車両運搬具及び工具器具備品	10,437,806	12,399,499
減価償却累計額	△7,365,776	△9,369,109
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	3,072,030	3,030,389
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産	538,486	538,486
減価償却累計額	△489,247	△507,684
リース資産 (純額)	49,238	30,801
建設仮勘定	6,310	31,412
有形固定資産合計	16,810,233	17,552,375
無形固定資産		
のれん	1,034,950	1,965,454
商標権	—	20,559,362
ソフトウェア	601,509	791,047
その他	33,861	1,311,693
無形固定資産合計	1,670,321	24,627,557
投資その他の資産		
投資有価証券	1,205,029	932,066
長期貸付金	613,541	649,405
長期前払費用	59,526	47,986
敷金及び保証金	3,008,647	3,522,191
繰延税金資産	457,433	481,810
その他	163,327	188,217
貸倒引当金	△34,959	△109,587
投資その他の資産合計	5,472,548	5,712,090
固定資産合計	23,953,103	47,892,023
資産合計	43,690,171	68,357,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当連結会計年度 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,193,275	2,430,957
1年内返済予定の長期借入金	3,355,738	4,787,866
リース債務	33,289	20,452
未払金	1,345,766	1,337,875
未払費用	1,124,858	1,096,081
未払法人税等	1,516,796	1,873,817
賞与引当金	334,518	395,052
預り金	1,728,024	1,806,372
その他	1,009,693	1,079,163
流動負債合計	12,641,960	14,827,639
固定負債		
長期借入金	6,381,710	19,533,844
リース債務	23,286	6,721
繰延税金負債	119,680	5,028,123
資産除去債務	1,628,153	1,981,839
その他	231,581	282,069
固定負債合計	8,384,411	26,832,597
負債合計	21,026,372	41,660,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	2,335,577	2,335,577
利益剰余金	17,461,291	21,115,366
自己株式	△301,401	△301,538
株主資本合計	21,565,724	25,219,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,907	34,171
為替換算調整勘定	59,659	402,722
その他の包括利益累計額合計	94,567	436,893
非支配株主持分	1,003,506	1,040,687
純資産合計	22,663,798	26,697,244
負債純資産合計	43,690,171	68,357,480

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
売上高	55,283,582	61,771,031
売上原価	40,998,606	45,064,587
売上総利益	14,284,976	16,706,443
販売費及び一般管理費	8,138,507	8,848,328
営業利益	6,146,469	7,858,115
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,673	14,727
為替差益	79,915	302,944
店舗移転補償金	73,259	91,000
協賛金収入	59,212	58,291
その他	110,191	132,811
営業外収益合計	331,252	599,774
営業外費用		
支払利息	23,418	47,185
株式交付費	26,754	—
貸倒引当金繰入額	—	73,359
支払手数料	—	102,200
その他	73,297	27,251
営業外費用合計	123,471	249,996
経常利益	6,354,250	8,207,893
特別利益		
固定資産売却益	16,214	381
特別利益合計	16,214	381
特別損失		
固定資産除却損	115,848	60,115
減損損失	546,790	435,548
投資有価証券評価損	—	24,650
特別損失合計	662,639	520,314
税金等調整前当期純利益	5,707,826	7,687,959
法人税、住民税及び事業税	2,524,106	3,013,682
法人税等調整額	△364,999	△116,979
法人税等合計	2,159,107	2,896,703
当期純利益	3,548,718	4,791,256
非支配株主に帰属する当期純利益	293,148	364,657
親会社株主に帰属する当期純利益	3,255,570	4,426,599

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
当期純利益	3,548,718	4,791,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,652	△736
為替換算調整勘定	13,430	343,063
その他の包括利益合計	29,082	342,326
包括利益	3,577,801	5,133,583
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,284,653	4,768,925
非支配株主に係る包括利益	293,148	364,657

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	493,600	483,600	14,834,131	△2,319,401	13,491,930
当期変動額					
新株の発行	1,576,657	1,576,657			3,153,315
剰余金の配当			△628,410		△628,410
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,255,570		3,255,570
自己株式の処分		275,320		2,018,000	2,293,320
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,576,657	1,851,977	2,627,159	2,018,000	8,073,794
当期末残高	2,070,257	2,335,577	17,461,291	△301,401	21,565,724

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	19,255	46,229	65,484	715,358	14,272,773
当期変動額					
新株の発行					3,153,315
剰余金の配当					△628,410
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,255,570
自己株式の処分					2,293,320
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15,652	13,430	29,082	288,148	317,231
当期変動額合計	15,652	13,430	29,082	288,148	8,391,025
当期末残高	34,907	59,659	94,567	1,003,506	22,663,798

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,070,257	2,335,577	17,461,291	△301,401	21,565,724
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△772,524		△772,524
親会社株主に帰属する当期純利益			4,426,599		4,426,599
自己株式の処分					—
自己株式の取得				△136	△136
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,654,074	△136	3,653,938
当期末残高	2,070,257	2,335,577	21,115,366	△301,538	25,219,662

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34,907	59,659	94,567	1,003,506	22,663,798
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当					△772,524
親会社株主に帰属する当期純利益					4,426,599
自己株式の処分					—
自己株式の取得					△136
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△736	343,063	342,326	37,180	379,506
当期変動額合計	△736	343,063	342,326	37,180	4,033,445
当期末残高	34,171	402,722	436,893	1,040,687	26,697,244

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,707,826	7,687,959
減価償却費	3,570,980	3,581,895
減損損失	546,790	435,548
のれん償却額	437,717	473,118
商標権償却額	—	242,178
賞与引当金の増減額 (△は減少)	87,974	60,533
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△675	70,841
受取利息及び受取配当金	△8,673	△14,727
支払利息	23,418	47,185
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16,214	△381
売上債権の増減額 (△は増加)	△294,455	△587,477
たな卸資産の増減額 (△は増加)	58,636	27,731
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,522	232,970
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	803,050	71,506
その他	185,522	136,201
小計	11,147,420	12,465,087
利息及び配当金の受取額	8,673	14,727
利息の支払額	△23,315	△47,119
法人税等の支払額	△1,923,688	△4,105,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,209,089	8,327,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,978,676	△4,356,427
有形固定資産の売却による収入	16,283	381
無形固定資産の取得による支出	△400,476	△465,809
投資有価証券の取得による支出	△693,875	△267,863
投資有価証券の売却等による収入	3,603	718,939
敷金及び保証金の差入による支出	△323,681	△574,868
敷金及び保証金の回収による収入	16,232	52,025
貸付けによる支出	△51,012	△111,996
貸付金の回収による収入	27,788	61,806
定期預金の増減額 (△は増加)	28,535	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△18,405,198
その他	38,268	△56,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,317,007	△23,405,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500,000	18,297,800
長期借入金の返済による支出	△3,583,216	△3,815,738
株式の発行による収入	3,126,560	—
自己株式の取得による支出	—	△136
自己株式の売却による収入	2,293,320	—
リース債務の返済による支出	△44,115	△33,383
配当金の支払額	△628,410	△772,524
非支配株主への配当金の支払額	△5,000	△400,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,659,138	13,276,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45,928	△63,353
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,505,291	△1,865,877
現金及び現金同等物の期首残高	6,249,594	13,754,885
現金及び現金同等物の期末残高	13,754,885	11,889,007

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

（1）報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、各子会社は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、下記の4区分を報告セグメントとしております。

（2）各報告セグメントに属するサービスの種類

- ① 「カラオケ」はカラオケボックス店舗の運営を行っております。
- ② 「カーブス」はフィットネスフランチャイズの運営及びフィットネスクラブ”カーブス”店舗の運営を行っております。
- ③ 「温浴」は温浴施設の運営を行っております。
- ④ 「不動産管理」は賃貸等不動産の管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	29,614,188	23,720,110	1,637,206	312,077	55,283,582	—	55,283,582
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,614,188	23,720,110	1,637,206	312,077	55,283,582	—	55,283,582
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,050,744	4,672,385	122,308	126,302	6,971,740	△825,270	6,146,469
セグメント資産	18,720,766	13,892,354	630,366	3,683,721	36,927,209	6,762,962	43,690,171
その他の項目							
減価償却費	3,124,421	236,324	84,984	82,484	3,528,215	42,765	3,570,980
のれんの償却額	436,365	1,351	—	—	437,717	—	437,717
減損損失	546,790	—	—	—	546,790	—	546,790
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,008,424	442,152	107,982	—	5,558,559	13,765	5,572,324

- (注) 1. セグメント利益の調整額△825,270千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額6,762,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	31,936,452	27,933,448	1,587,484	313,644	61,771,031	—	61,771,031
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,936,452	27,933,448	1,587,484	313,644	61,771,031	—	61,771,031
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,153,438	5,345,320	71,885	133,570	8,704,215	△846,100	7,858,115
セグメント資産	19,942,277	37,433,323	679,331	3,746,393	61,801,325	6,556,155	68,357,480
その他の項目							
減価償却費	3,044,097	578,400	86,040	79,647	3,788,185	35,889	3,824,074
のれんの償却額	451,247	21,870	—	—	473,118	—	473,118
減損損失	435,548	—	—	—	435,548	—	435,548
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,028,979	424,176	133,552	3,459	4,590,168	13,695	4,603,864

- (注) 1. セグメント利益の調整額△846,100千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額6,556,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	436,365	1,351	—	—	—	437,717
当期末残高	1,033,261	1,689	—	—	—	1,034,950

当連結会計年度(自 平成2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	451,247	21,870	—	—	—	473,118
当期末残高	323,803	1,641,651	—	—	—	1,965,454

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)		当連結会計年度 (自 平成29年9月1日 至 平成30年8月31日)	
1株当たり純資産額	266円36銭	1株当たり純資産額	315円51銭
1株当たり当期純利益金額	43円63銭	1株当たり当期純利益金額	54円44銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

- (注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度980,000株、当連結会計年度980,000株)。また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度980,000株、当連結会計年度980,000株)。
2. 当社は、平成30年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年9月1日 至 平成30年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,255,570	4,426,599
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,255,570	4,426,599
期中平均株式数(株)	74,626,056	81,318,345

(重要な後発事象)

該当事項はありません。